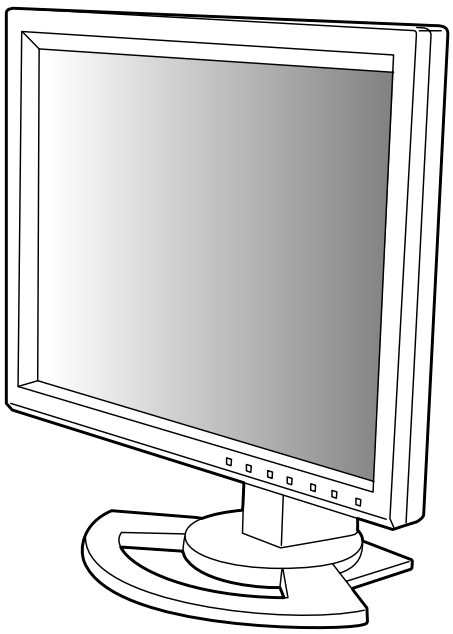
SHARP®

取扱説明書
液晶カラーモニター

形名 LL-151D



もくじ

		ページ
はじめに	安全にお使いいただくために	3
	付属品の確認	6
	各部の名前とはたらき	7
	角度調整・高さ調整	8
準　備	接続・電源入／切	9
	コンピュータの接続	10
	ヘッドホン(市販品)の接続	11
	電源の接続	11
	電源の入れ方	12
	電源の切り方	12
画面調整 音量調整	画面・スピーカー音量の調整	13
	バックライトの明るさ調整	13
	スピーカーの音量調整	13
	画面の調整	14
	画面の自動調整(アナログ接続時)	14
	画面の手動調整	15
3D表示	3D画像を表示するには	18
	SHARP Stereo Displayのインストール	18
	付属のソフトウェアについて	19
	3D画像を表示する	20
補　足	お手入れ・保管・アフターサービスについて	21
	お手入れのしかた	21
	保管にあたって	21
	故障かな？と思ったら	22
	アフターサービスについて	23
	お客様ご相談窓口のご案内	24
	仕様	26
	セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)	30
	ColorSyncプロファイルについて(MacOS)	33
	VESA規格準拠アームの取り付け方	34

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも液晶モニターの動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内(AC100V)用です。海外では使えません。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、くわしくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について
※ 本書では、Microsoft Windows XP Home EditionとMicrosoft Windows XP Professionalを「Windows XP」、Microsoft Windows 2000を「Windows 2000」、Microsoft Windows Millennium Editionを「Windows Me」、Microsoft Windows 98を「Windows 98」、Microsoft Windows 95を「Windows 95」、Microsoft Windows Version 3.1を「Windows 3.1」と表記します。また、これらを区別する必要のない場合は、総称して「Windows」と表記しています。
※ Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
※ そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

お願い
※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

絵表示について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味　（絵表示の一例です。）

⚠ 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

🚫 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

❗ 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、落雷による火災や感電を防ぐために、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。異常が起きたら、すぐにモニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警 告

アース接続してください。アース接続がされないで万一、故障した場合は感電の恐れがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠ 注 意

ACアダプターおよび電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

ACアダプターの取り扱いにあたっては、次のことをお守りください。取り扱いを誤ると、火災や感電、けがの原因になることがあります。

- 落下させたり、衝撃を与えないでください。
- 絶対に分解しないでください。内部には高圧部分があり、触ると危険です。
- ACアダプターは屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 付属のACアダプターは他の機器に使用しないでください。

⚠注 意

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ●夜間、旅行などで長時間使用しないときは、モニターの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

⚠注 意

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

- ●連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- ●明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- ●日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

年に一度を目安にモニター内部を清掃してください。(もよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。)
内部にほこりがたまると、発熱や発火の原因になることがあります。

立体(3D)表示するときは、次のことを必ずお守りください。

- ●目の疲労、頭痛、乗り物酔いに似た症状などを感じた場合、その他何らかの異常を感じた場合は、直ちに使用を中止して休憩してください。休憩しても症状が治らない場合は、医師の診察を受けてください。
- ●長時間連続使用される場合は、30分ごとに30分程度休憩し、目を休ませてください。
- ●目の成長過程を守るため、幼児や学童(小学生以下)には使用させないでください。

⚠ 注 意

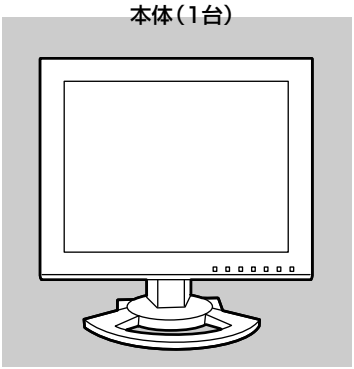
持ち運ぶときは、ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持ってください。
ディスプレイ部だけで持ち上げると、スタンドが急に伸びたり、スタンド部が揺れて、けがの原因になることがあります。また、本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

ディスプレイ部とスタンド部の間（特に取り付け部分付近）で指をはさまないようにご注意ください。

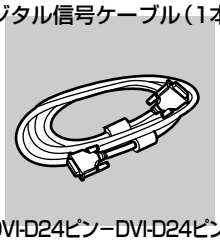
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

本体（1台）



デジタル信号ケーブル（1本）

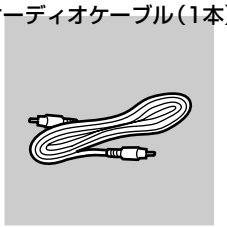


(DVI-D24ピン−DVI-D24ピン)

アナログ信号ケーブル（1本）

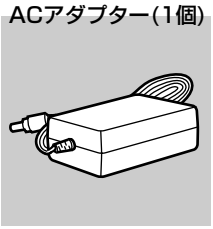
(DVI-I29ピン−ミニD-sub15ピン)

オーディオケーブル（1本）



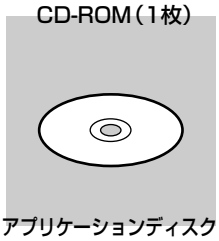
電源コード（1本）

ACアダプター（1個）



USBケーブル（1本）

CD-ROM（1枚）

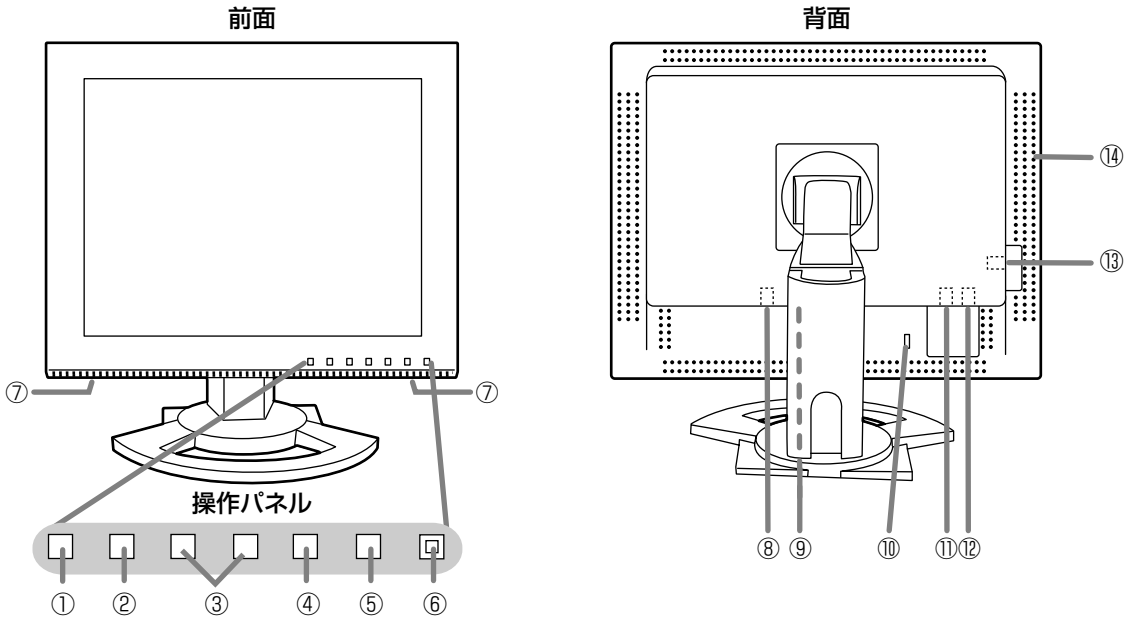


アプリケーションディスク
(Windows/Macintosh用)

- 取扱説明書（1部）
- 保証書（1部）

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※ アプリケーションディスク内のユーティリティーの著作権は、シャープ(株)が保有しています。許可なく複製しないでください。

各部の名前とはたらき



① MENUボタン ..... 調整メニューの表示、切り替え、消去を行います。
② ▼ ボタン ..... 調整メニューが表示されているとき、調整項目の選択に使います。
③ ◀ ▶ ボタン ..... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカーの音量を調整します。
④ 3Dボタン ..... 表示の2D/3Dモードを切り替えます。
⑤ 電源ボタン ..... 電源の入／切を行います。
⑥ 電源ランプ ..... 2Dモードでは緑色に、3Dモードでは青色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
⑦ スピーカー ..... 本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。
⑧ 電源端子 ..... 付属のACアダプターを接続します。
⑨ DVI-I入力端子 ..... コンピュータのデジタルRGB出力端子やアナログRGB出力端子と接続します。
※ デジタル接続の場合、DVI準拠の出力端子（DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン）を持ち、XGA出力が可能なコンピュータと接続することができます。（ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。）
⑩ 盗難防止ホール（ ） ..... 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑪ USB端子（3D表示用） ..... 付属のUSBケーブルを使って、コンピュータのUSB端子と接続します。
⑫ 音声入力端子 ..... 付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。
⑬ ヘッドホン端子 ..... 市販のヘッドホンを接続することができます。
⑭ 通風孔 ..... 機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

角度調整・高さ調整

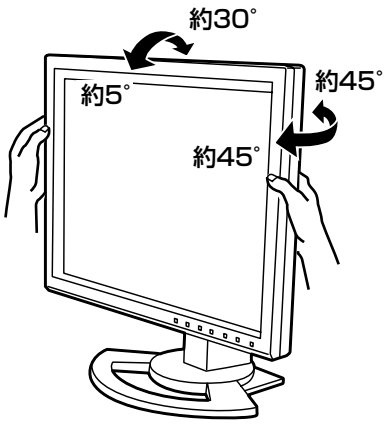
！ ご注意

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。

⚠ 注意 **指などをはさまないようにご注意ください。**

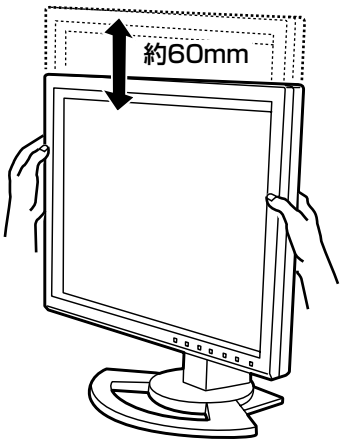
■角度調整

見やすい角度に調整します。



■高さ調整

見やすい高さに調整します。



接続・電源入／切

！ ご注意

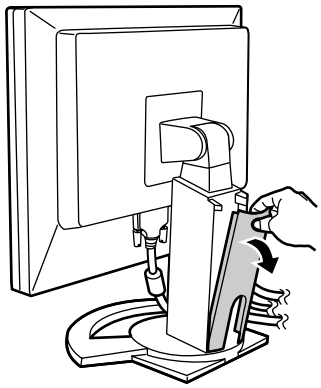
※ 接続は、モニターおよびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

■ケーブルの収納について

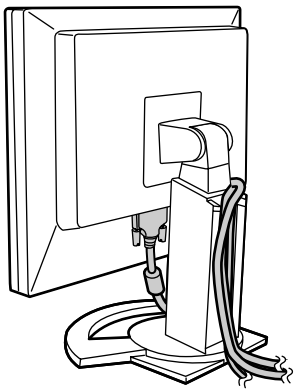
ケーブルは、必要に応じてスタンドに収納することができます。

1. カバーを外す。

カバー上部を静かに手前に引きます。

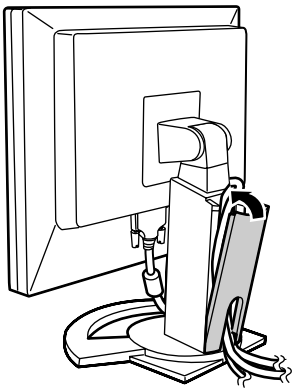


2. スタンドの背面にケーブルを沿わせる。



3. カバーを取り付ける。

ケーブルをはさまないように注意してください。



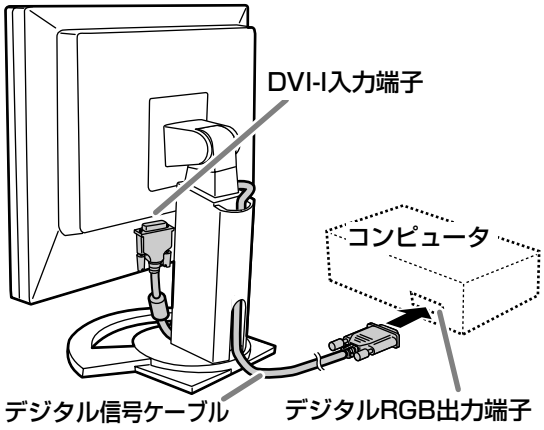
※ カバーが取り付けにくいときは、無理に取り付けずに、ケーブルがはさまれていないかを確かめてください。

コンピュータの接続

■デジタル接続

付属のデジタル信号ケーブルを使って、コンピュータのデジタルRGB出力端子と接続します。

※ DVI準拠の出力端子（DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン）を持ち、XGA出力が可能なコンピュータと接続することができます。（ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。）



※ コネクタの向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

Belkin製ADC-DVIアダプターを使用してPower Macとデジタル接続をする場合は、本機で次の設定を行ってください。

（Power Mac G4 M7627J/Aで動作確認済み）

※ 設定は、Power Mac本体の電源を切った状態で行ってください。

1. ACアダプターと電源コードを接続する。

2. ◀ ボタンと ▶ ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す（モニターの電源を入れる）。

次のメニューが表示されます。

3.「する」に設定する。（◀ ▶ ボタン）

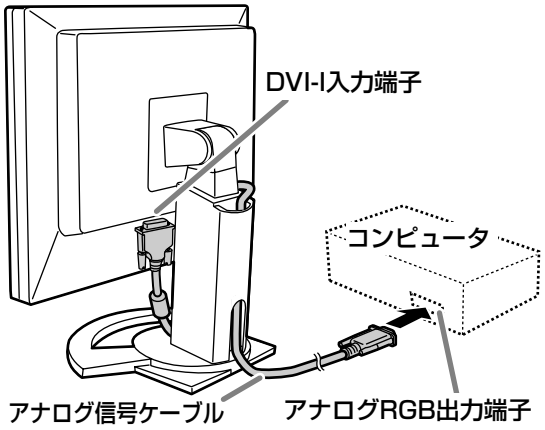
※ Belkin製ADC-DVIアダプターを使用しないときは「する」に設定しないでください。正しく表示されなくなることがあります。

4. MENUボタンを押す。

以上で設定は完了です。

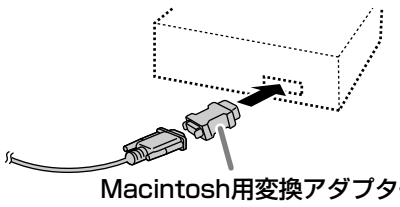
■アナログ接続

付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。



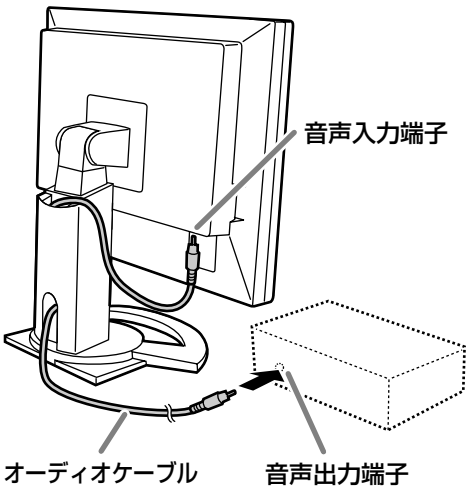
※ コネクタの向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

D-sub15ピン2列のPower Macintoshとアナログ接続をする場合は、アナログ信号ケーブルのコンピュータ側コネクタにMacintosh用変換アダプター（市販品）を取り付けます。



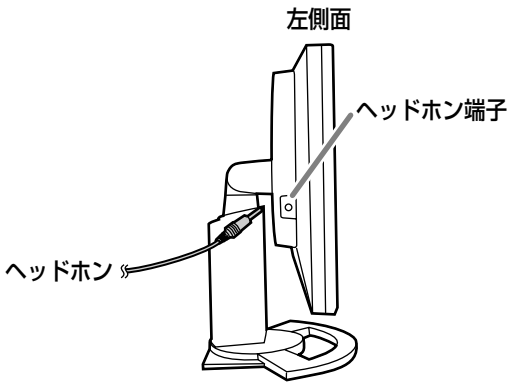
■オーディオケーブルの接続

付属のオーディオケーブルをコンピュータの音声出力端子と接続すると、接続したコンピュータの音が本機のスピーカーから出力されます。また、本機のヘッドホン端子を利用することもできます。



ヘッドホン(市販品)の接続

ヘッドホン(市販品)を接続することができます。



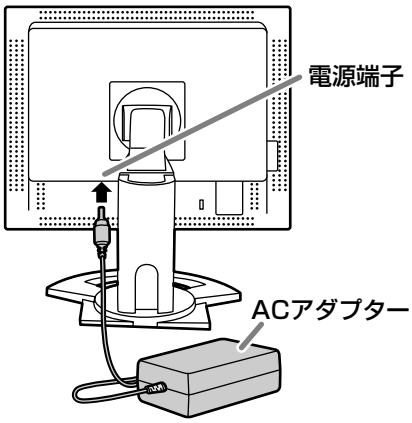
? Memo

※ ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。

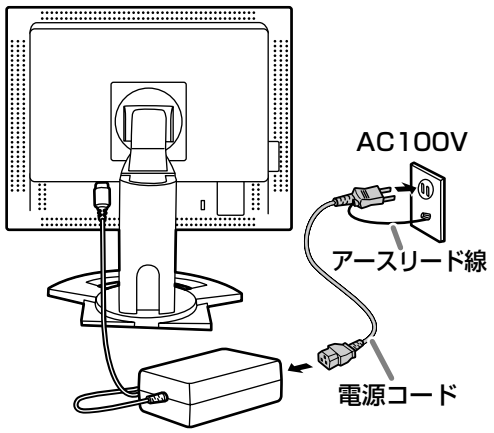
電源の接続

⚠ 注意 **電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

1. 付属のACアダプターを電源端子に接続する。



2. 付属の電源コードをACアダプターに差し込み、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込む。

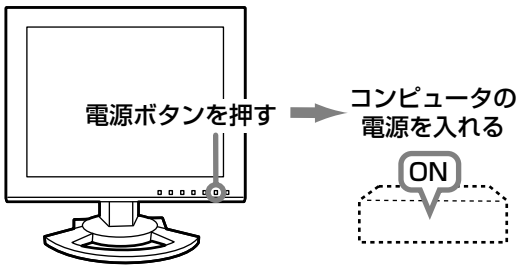


⚠ 警告 **アース接続してください。**アース接続がされないで万一、故障した場合は感電の恐れがあります。

- ●アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- ●アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番が異なると感電の原因となります。

電源の入れ方

1.モニターの電源ボタンを押す。
2. コンピュータの電源を入れる。
電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。



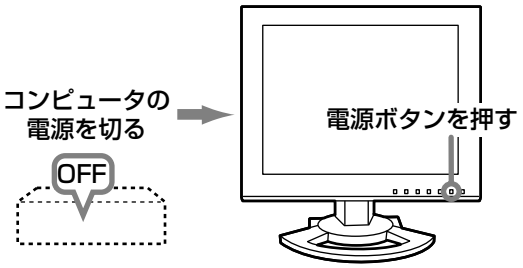
※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

? Memo

※ アナログ接続の場合、本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整（14ページ）をしてください。
（デジタル接続でお使いの場合は、自動調整する必要はありません。）
※ お使いのコンピュータやＯＳによっては、接続先のコンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になる場合があります。（30ページ）
※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコンの画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

電源の切り方

1.コンピュータの電源を切る。
2.モニターの電源ボタンを押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面・スピーカー音量の調整

デジタル接続時

基本的には、調整をしなくてもお使いいただけます。必要に応じて手動調整ができます。（15ページ）

アナログ接続時

1.初めに自動調整をする。（14ページ）
2.必要に応じて手動調整をする。（15ページ）

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENUボタンと ▼ ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

アナログ接続時の画面調整メニュー（クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置）の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1.モニターの電源を入れる。
2. MENUボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして（ロック設定）、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. モニターの電源を切る。
2. MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
3. ▶ ボタンを押す。

調整ロックの解除

1. モニターの電源を切る。
2. MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
3. ▶ ボタンを押す。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。
2. ▼ ボタンで「明るさ」を選択する。

3. ◀ ボタン（暗くする）、▶ ボタン（明るくする）を押して調整する。
調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。
2. ▼ ボタンで「音量」を選択する。

3. ◀ ボタン（小さくする）、▶ ボタン（大きくする）を押して調整する。
調整用の表示は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

画面の調整

画面の自動調整(アナログ接続時)

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

※ デジタル接続している場合は、自動調整をしなくてもお使いいただけます。必要に応じて手動調整してください。

■調整のための画面表示について

調整を行うために、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。
Windowsをご使用の場合は、付属CD-ROM内の調整用パターン(Windows専用)をご利用ください。

調整用パターン(Windows専用)の呼び出し方

Windows 95/98/Me/2000/XPを基準に、CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。

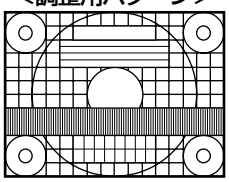
2.「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。

Windows 3.1の場合は、「ファイルマネージャ」を開き、「Dドライブ」を選択します。

3.「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。

調整用パターンが表示されます。

<調整用パターン>



調整終了後は、コンピュータの[ESC]キーを押して、調整用プログラムを終了してください。

? Memo

※ 使用するコンピュータの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

■自動調整のしかた

1. MENUボタンを押す。

画面調整メニューが表示されます。

2.▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。

画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
(これで自動調整は完了です。)

3. MENUボタンを4回押して、調整メニューを消す。

? Memo

※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。

※1回の自動調整では、正しく調整できないことがあります。その場合は、自動調整を2~3回繰り返してみてください。

※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。(15ページ)

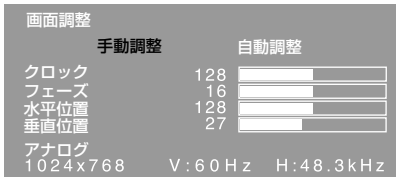
- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき
  (画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)

※ 動画やMS-DOSプロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

1. **調整用の画面を表示する。**（14ページ）
2. **MENUボタンを押して、調整メニューを表示する。**

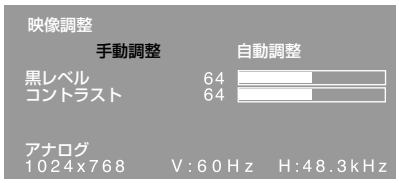
画面調整メニュー



▼ ボタンで調整項目を選びます。

⬇ MENUボタン

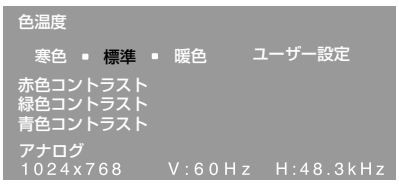
映像調整メニュー



▼ ボタンで調整項目を選びます。

⬇ MENUボタン

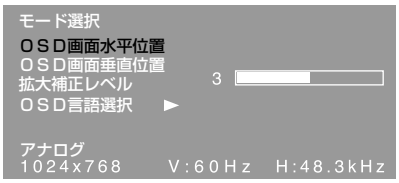
色温度メニュー



◀ または ▶ ボタンで項目を選びます。

⬇ MENUボタン

モード選択メニュー



▼ ボタンで調整項目を選びます。

⬇ MENUボタン

調整メニュー終了

? Memo

※ デジタル接続でお使いの場合、画面調整メニューと映像調整メニューを調整する必要はありません。

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約30秒後、自動的に消えます。

※ 本書では、調整用パターン(Windows用)を利用した調整のしかたを基本に説明します。

■画面調整メニュー

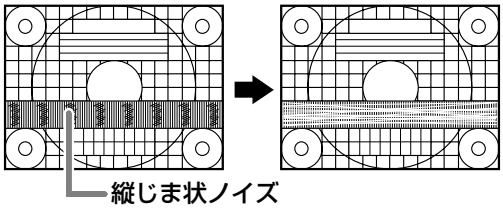
デジタル接続でお使いの場合は、調整する必要はありません。

自動調整

▶ ボタンで選択すると、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」が自動的に調整されます。

クロック

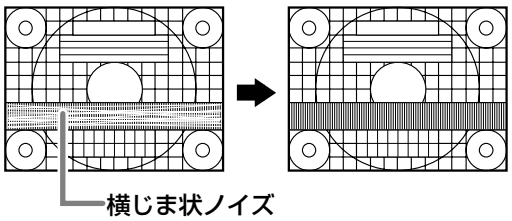
調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように◀ または ▶ ボタンで調整します。



フェーズ(位相)

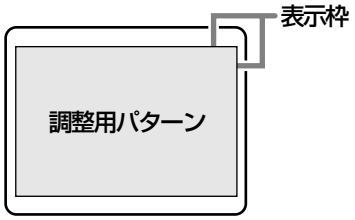
調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように◀ または ▶ ボタンで調整します。

※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。



水平位置、垂直位置

調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右(水平位置)、上下(垂直位置)の位置を◀ または ▶ ボタンで調整します。



■映像調整メニュー

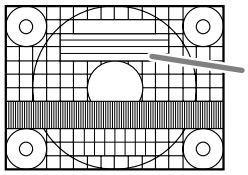
デジタル接続でお使いの場合は、調整する必要はありません。

自動調整

▶ ボタンで選択すると、「黒レベル」「コントラスト」が自動的に調整されます。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。



コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように ◀ または ▶ ボタンで調整します。

? Memo

自動調整(オートゲインコントロール機能)について

※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に調整します。

※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の白い部分と黒い部分がある画像を表示してください。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。

※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

■色温度メニュー

寒色 ..... 標準設定よりも青みがかった色合い

- ..... 標準設定よりもやや青みがかった色合い

標準 ..... 標準設定

- ..... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い

暖色 ..... 標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。

▼ ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選んで調整します。

赤色コントラスト ..... ◀ ボタンで青緑色、
▶ ボタンで赤色

緑色コントラスト ..... ◀ ボタンで紫色、
▶ ボタンで緑色

青色コントラスト ..... ◀ ボタンで黄色、
▶ ボタンで青色

? Memo

※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

■モード選択メニュー

? Memo

※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。

OSD画面水平位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで左右に動かします。

OSD画面垂直位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで上下に動かします。

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。

※ 解像度1024×768ドット未満の画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。（アスペクト比（縦横比）が変わることがあります。）

OSD言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

① 「OSD言語選択」を選択して、▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。

② ▼ ボタンで言語を選択する。

③ MENUボタンを押す。

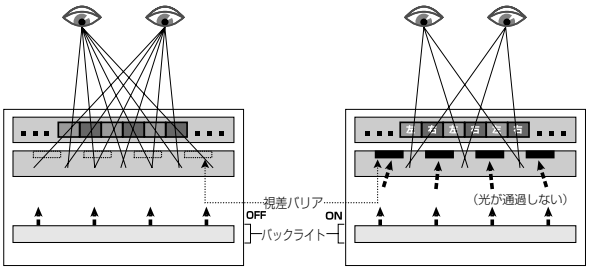
3D画像を表示するには

本機は、特殊なメガネなしで画像や映像を立体的に表示することができる3D対応液晶モニターです。
表示モードを、立体(3D)表示をする3Dモードと、通常(2D)表示をする2Dモードに切り替えることができます。

? Memo

基本原理

※ 3Dモードでは、視差バリアにより光が分離され、左右の目に異なる光が届くため、画像や映像が立体的に見えます。
※ 2Dモードでは、視差バリアによる光の分離をなくし、左右の目に同じ光が届くため、通常の平面表示となります。



■3D画像を表示するための条件

3D画像の表示が可能なソフトウェア

・ SHARP 3D Technology対応のソフトウェア
・ その他の3D表示可能なソフトウェア

3D表示の動作環境について

・ SHARP 3D Technology対応ソフトウェアは、Windows XPでのみ動作します。
・ コンピュータとの接続は、デジタル接続を推奨します。
・ ご利用になるソフトウェアによって動作環境が異なる場合があります。各ソフトウェアの動作環境をお確かめください。

? Memo

※ SHARP 3D Technologyはシャープが独自に開発した3D表示を実現するための技術です。
※ 両目に大きく視力差がある場合、低いほうの視力が0.2以下の場合、主に片側の目を使って画面を見る場合には、立体に見えません。また、これら以外の場合でも、個人差や表示内容によって、立体に見えにくかったり、立体に見えない場合があります。
※ 立体感の感じかたには、個人差があります。

SHARP Stereo Displayのインストール

対応OS : Windows XP

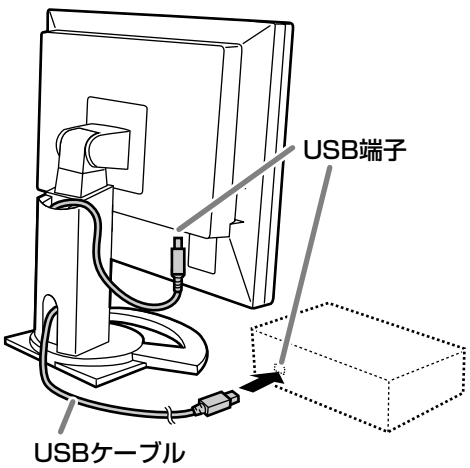
本機で、SHARP 3D Technology 対応ソフトウェアを使って3D表示するには、お使いのコンピュータに以下のソフトウェアをインストールし、USBケーブルを接続する必要があります。

・ SHARP Stereo Display Driver
（USB端子でモニターの表示モードを制御するためのドライバー）
・ SHARP Stereo Display Manager
（アプリケーションの状態に応じてモニターの表示モードを管理するソフトウェア）
・ SHARP Stereo Display Component
（本機で適切な3D表示を行うためのソフトウェア）

インストールの操作はUSBケーブルを接続していない状態で始めます。ソフトウェアのインストールとUSBケーブル接続の手順は、付属CD-ROMの「3D」、「SSD」、「Japanese」フォルダの「ReadmeJ.txt」をご覧ください。

! ご注意

※ 必ず「ReadmeJ.txt」に記載の手順でインストールと接続を行ってください。順番を誤ると、正しくインストールができない場合があります。



付属のソフトウェアについて

SHARP Stereo Displayインストール後、必要に応じて付属のCD-ROMからインストールしてください。

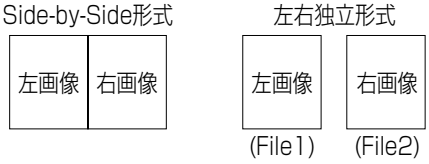
！ ご注意

※ 必ずSHARP Stereo Displayをインストールした後にインストールしてください。

■SHARPスマートステレオフォトエディター

対応OS : Windows XP

SHARP 3D Technology対応ソフトウェアです。ステレオレンズアダプターを付けたデジタルカメラなどで撮影された3D表示用の画像を、本機で3D表示できるフォーマットに変換します。
扱える形式は、Side-by-Side形式と左右独立形式です。



インストール方法

！ ご注意

※ お使いのコンピュータにMicrosoft.NET. Frameworkがインストールされていない場合は、先にMicrosoft.NET. Frameworkをインストールしてください。CD-ROMの「3D」、「3DSOFT」、「dotnet」、「Japanese」フォルダの「dotnetfx.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

1. CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「3D」、「3DSOFT」、「SLE」、「Japanese」フォルダの「PhotoEditor.exe」をダブルクリックする。
3. 以降画面の指示に従って操作する。

使用方法

「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」、「SHARPスマートステレオフォトエディター」から「SHARPスマートステレオフォトエディターユーザーガイド」または「SHARPスマートステレオスライドショーユーザーガイド」を参照してください。

■SHARPスマートステレオカメラカリキュレーター

対応OS : Windows XP

ステレオカメラの画像を本機で表示する際の属性値を計算します。

インストール方法

1. CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「3D」、「3DSOFT」、「SLE」、「Japanese」フォルダの「CamCalc.exe」をダブルクリックする。
3. 以降画面の指示に従って操作する。

使用方法

「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」、「SHARPステレオカメラカリキュレーター」から「ユーザーガイド」を参照してください。

3D画像を表示する

■3D画像を表示をするときのご注意

・画面の解像度を1024 × 768に設定してください。他の解像度では3D表示できません。
・必ずモニターとコンピュータの電源が切れている状態でUSBケーブルを接続し、モニターの電源を入れてからコンピュータの電源を入れてください。
・コンピュータやモニターの電源が入っている状態でUSBケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しない場合があります。
・3D画像を表示するとき以外は、3Dモードにしないでください。
・3D画像を表示しているときに2Dモードにすると、画面を正しく見られないことがあります。
・アナログ接続の場合、画面の自動調整などで画面を正しく調整してください。
・3Dモードで調整メニュー画面が見えにくい場合は、2Dモードで調整してください。
・付属CD-ROMの「3D」、「SSD」、「Japanese」フォルダの「ReadmeJ.txt」を併せてお読みください。

SHARP 3D Technology対応のソフトウェアの場合

・複数のユーザーがログオンした状態では、3D表示できない場合があります。いったんログオフしてから一番最初にログオンしたユーザーでログオンしてください。

■見る位置について

3Dモードで表示する場合は、画面から約60cm離れて、画面の正面から見ないと立体的には見えません。頭をまっすぐにし、両目を画面に平行にしてください。

正しい位置で見ているかどうかの目安

3Dモードで表示すると、画面の下に赤い帯が表示されます。この赤い帯の全体(または下部)が最も暗く見える位置が、3Dモードで見る場合の最適な位置です。頭の位置を前後上下左右に少しずつ動かして位置を調節してください。

? Memo

※ フルスクリーン表示されないソフトウェアなどでは、画面の下に赤い帯が表示されない場合があります。

■2D/3Dモードの切り替え

SHARP 3D Technology対応ソフトウェアの場合

3D表示可能なソフトウェアで3D表示すると、表示モードが自動的に3Dモードに切り替わり、電源ランプが青色に点灯します。2D表示にすると、表示モードは2Dモードに戻り、電源ランプが緑色に点灯します。
自動的に3Dモードに切り替わらない場合は、3Dボタンを押して、表示モードを切り替えてください。
(もう一度3Dボタンを押すと2Dモードに戻ります。)

? Memo

※ 3Dボタンを押して3Dモードにした場合、待機状態から復帰したあと、2Dモードになる場合があります。
※ 3Dボタンを押して3Dモードにした場合、一度モニターの電源を切って、再度電源を入れると2Dモードになります。

その他3D表示可能なソフトウェアの場合

それぞれのソフトウェアの取扱説明書でご確認ください。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやホコリは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

！ ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

？ Memo

※ 本機で使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄するときは、地方自治体の条例・規則に従ってください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

！ ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります(故障ではありません)。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない(電源ランプ消灯)

※ ACアダプターや電源コードは正しく接続されていますか。(11ページ)

画面に何も表示されない(電源ランプ点灯)

※ コンピュータと正しく接続されていますか。(10ページ)
※ コンピュータの電源は入っていますか。
※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。(27、28ページ)
※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。(13ページ)

画面が乱れている

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。(27、28ページ)
※ アナログ信号でお使いの場合、画面自動調整を行ってください。(14ページ)
※ お使いのコンピュータで垂直周波数(リフレッシュレート)が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。(27、28ページ)

音が聞こえない

※ オーディオケーブルは正しく接続されていますか。(11ページ)
※ 音量調整を行ってください。(13ページ)
※ ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーの音は鳴りません。
※ 本機が待機状態(電源ランプがオレンジ色)になっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

3D画像(映像)が立体表示されない／2重に見える

※ 3D表示可能なソフトウェアを起動しているか確認してください。
※ SHARP 3D Technology対応のソフトウェアの場合
- 3Dボタンを押して3Dモード(電源ランプが青色)にしてください。
- 画面の解像度が1024×768 になっているか確認してください。
- 複数ユーザーでログオンしている場合は、Windows起動時にログオンしたユーザー以外はすべてログオフしてください。

※ 頭の位置を前後上下左右に少しずつ動かして、画面の下に表示されている赤い帯の全体(または下部)が最も暗くなるように頭の位置を調節してください。

3Dモードにすると画面が暗くなる

※ 3Dモードにすると2Dモードよりも少し画面が暗くなりますが、故障ではありません。

3Dボタンを押しても3D モードに切り替わらない

※ SHARP 3D Technology対応のソフトウェアですか。SHARP 3D Technology対応以外のソフトウェアを使用している場合は、ソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から1年間です(ただし、光源の蛍光管は消耗品ですので、保証の対象になりません)。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■補修用性能部品について

当社は、この液晶モニターの補修用性能部品を製造打切後、7年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**「お持ち込み」**のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談窓口** へ
・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は…… **お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2004年7月現在)

修理相談窓口

パソコン修理相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

【パソコン修理相談センター】

ナビダイヤル

0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせいたします。
(注)携帯電話・PHSからはナビダイヤルをご利用いただけません。
下記一般電話番号におかけください。

携帯電話／PHSの方は一般電話へ ..... 東日本地区 043-351-1831　西日本地区 06-6792-5613

◎修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

＜受付時間＞※月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分 (土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3－17
	帯広	〒080-0011	帯広市西1条南26丁目19－1
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町1－9
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町8－13
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通4丁目左10
	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町31－17
青森県	青森	〒030-0121	青森市妙見3－3－4
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田3－5－1
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野2－8－16
秋田県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻町大川反170－56
岩手県	岩手	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3－1－1
	釜石	〒026-0054	釜石市野田町1－10－32
宮城県	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3－1－27
山形県	山形	〒990-2332	山形市飯田2－7－43
福島県	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁33－1
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ケ丘37－10
新潟県	新潟	〒950-0993	新潟市上所中1－7－21
栃木県	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前4－2－41
群馬県	群馬	〒371-0855	前橋市問屋町1－3－7
茨城県	茨城	〒310-0851	水戸市千波町1963
埼玉県	さいたま	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2－107－2
東京都	江東	〒130-0011	東京都墨田区石原2－12－3
	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込1－5－15
	東京	〒114-0013	東京都北区東田端2－13－17
	多摩	〒191-0003	日野市日野台5－5－4
千葉県	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1－9－2
	千葉	〒270-2231	松戸市稔台295－1
	東千葉	〒289-2132	八日市場市高字東2779－4
	木更津	〒299-0115	市原市不入斗1555－1
神奈川県	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原1－2－23
	湘南	〒254-0013	平塚市田村4－14－36
	相模原	〒229-1122	相模原市横山2－2－12
山梨県	山梨	〒400-0049	甲府市富竹2－1－17
静岡県	静岡	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170番1
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町11－4
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町1476－2
長野県	松本	〒399-0002	松本市芳野8－14
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877－1
愛知県	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王3－5－5
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町1－21
	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17－1

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地
岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南3－12－9
三重県	三重	〒514-0102	津市栗真町屋町蒲池328
富山県	富山	〒930-0906	富山市新庄北町5－63
石川県	金沢	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4－103
福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
滋賀県	滋賀	〒520-2151	大津市栗林町11－35
京都府	京都	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	北近畿	〒620-0054	福知山市末広町6－13
大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西1－2－9
	大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南3－7－19
	南大阪	〒597-0062	貝塚市沢1215
	北大阪	〒563-0043	池田市神田1－32－27
兵庫県	神戸	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1－6－18
	姫路	〒671-2222	姫路市青山5－7－7
奈良県	奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄492
和歌山県	和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里2－4－91
	南紀	〒646-0051	田辺市稲成町80－2
鳥取県	鳥取	〒680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
岡山県	岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾828
島根県	松江	〒690-0017	松江市西津田3－1－10
広島県	広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原2－13－4
	東広島	〒739-0142	東広島市八本松東4－3－30
	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷272－1
山口県	山口	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町4－12
	東山口	〒744-0011	下松市西豊井173－1
香川県	高松	〒760-0065	高松市朝日町6－2－8
徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中常三島町3－11－14
愛媛県	愛媛	〒791-8036	松山市高岡町178－1
高知県	高知	〒781-8104	高知市高須1－14－43
福岡県	福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田2－12－1
	南福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野3－12－47
	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6－12
長崎県	長崎	〒856-0817	大村市古賀島町613－3
大分県	大分	〒870-0913	大分市松原町3－5－3
熊本県	熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷3－15－17
	天草	〒863-0021	本渡市港町19－3
宮崎県	宮崎	〒880-0007	宮崎市原町4－12
鹿児島県	鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12－1
	奄美	〒894-0035	名瀬市塩浜町8－1
沖縄県	那覇	〒900-0002	那覇市曙2－10－1
	先島	〒906-0013	平良市下里214－4

お客様相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室　電話 **043-299-8021**　FAX 043-299-8280　〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室　電話 **06-6794-8021**　FAX 06-6792-5993　〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

不具合品の訪問引き取り・修理・お届けサービス
《修理品引き取りサービス》のご案内

「修理品引き取りサービス」とは、電話で修理依頼をいただきますと、業務委託した宅配業者が、お客様のご都合の良い日時にご自宅まで訪問してお預かりし、修理完了後、ご自宅までお届けに伺うサービスです。

ご利用料金

■ **運送費**

保証期間内	無　料
保証期間外	有　料

※梱包材料費、代引手数料を含む往復料金。

■ **修理料金**

保証期間内	無料（保証書記載の「保証規定」に準じます）
保証期間外	有料（修理内容により異なります）

※保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書をご確認ください。

お申し込み

「パソコン修理相談センター」にお電話でお申し込みください。

ナビダイヤル **0570-01-4649**

- 受付時間：月曜～土曜：午前　9時～午後6時
  日曜／祝日：午前10時～午後5時
  年末・年始・当社指定の休日及び天災などやむをえない状況の際は臨時に休ませていただくことがありますので予めご了承ください。
- ナビダイヤルは全国一律料金でご利用いただけます。
- 携帯電話・ＰＨＳからはナビダイヤルをご利用いただけません。下記の一般電話におかけください。
  東日本地区：043-351-1831　　西日本地区：06-6792-5613
- 電話番号をお確かめの上、お間違えのないようにおかけください。

お引き取り

当社指定の宅配業者（ヤマト運輸）がお引き取りに伺います。

- お引き取り時間は下記時間帯よりお選び頂くことができます。
  ＡＭ／12時～14時／14時～16時／16時～18時／18時～21時
- お引き取り日はご依頼日の翌日以降となります。
- 交通事情などの理由によりご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問できる日時が変動します。
※修理品は宅配業者が梱包箱を持参してお伺いし梱包させて頂きます。

修理・お届け

修理完了後、シャープエンジニアリング（株）よりご連絡いたします。

- ご連絡時にサービス料金（修理料金＋運送費）と発送日をご連絡いたします。
- ヤマト運輸が修理完了品をお届けに伺います。
- サービス料金（修理料金＋運送費）をヤマト運輸に現金でお支払いください。

※離島の場合は、船便等のスケジュールにより、ご訪問日が変動します。

仕　様

■製品仕様

機種名
LL-151D

液晶表示素子
15型(対角38cm)3D対応TFTカラー液晶

最大解像度
XGA 1024×768
※ 2Dモードの場合。3Dモードでは、水平画素を左右に振り分けるため、実質的には半分になります。

最大表示色
約1619万色(6ビット+FRC)
※ FRC：Frame Rate Control

画素ピッチ
水平0.297mm×垂直0.297mm

最大輝度
2Dモード：370cd/m²
3Dモード：140cd/m²
※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。

コントラスト比
500：1

視野角(2Dモード)
左右130°／上下115°（コントラスト比 >10）

表示画面サイズ
横304.1mm×縦228.1mm

映像入力信号
アナログRGB(0.7Vp-p)[75Ω]
デジタルDVI規格1.0準拠

同期入力信号
水平／垂直セパレート(TTL：正／負)

拡大補正
デジタルスケーリング(VGA/SVGAなどをXGAに補正して拡大表示)
※ 全画面への拡大表示のみ。1：1での表示、アスペクト比(縦横比)固定での拡大表示はできません。

プラグ&プレイ
VESA DDC2B 対応

パワーマネージメント
VESA DPMS 準拠、DVI DMPM 準拠

スピーカー出力
1W + 1W

コンピュータ信号入力端子
デジタル／アナログ：DVI-I29 ピン

2D/3D 切替用 PC 接続端子
USB

音声入力端子
φ3.5mmミニステレオジャック

ヘッドホン出力端子
φ3.5mmミニステレオジャック

高さ調整
調整範囲約60mm

画面角度調整
チルト：上向きに約0～30°／下向きに約0～5°
スイーベル：左右に約45°

電源
AC100V　50/60Hz(専用ACアダプター使用)

使用温度条件
5～35℃

消費電力
25W(音声入力なし)、最大29W、待機時2W
(専用ACアダプター使用)

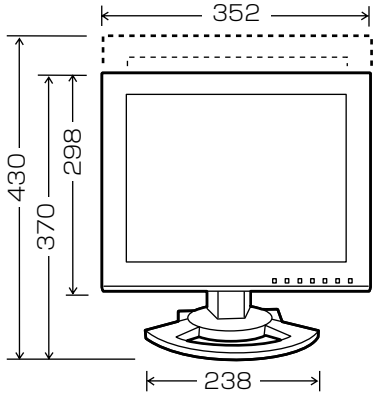
外形寸法
幅約352mm×奥行約185mm×高さ約370～430mm

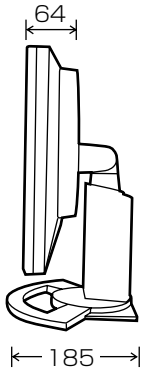
質量
約5.3kg(信号ケーブル／ACアダプター含まず)
約3.4kg(ディスプレイ部のみ)

梱包時寸法
幅約520mm×奥行約445mm×高さ約265mm

梱包時質量
約9kg

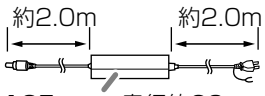
■外形寸法図（単位 mm）





付属ケーブルの長さ

デジタル信号ケーブル　：約2.0m
アナログ信号ケーブル　：約2.0m
オーディオケーブル　　：約2.0m
USB ケーブル　　：約2.0m
専用 AC アダプターと電源コード：



幅約125mm×奥行約60mm×高さ約33mm

■対応信号タイミング（デジタル）

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA・IBM AT 互換機	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz

※ 推奨解像度は、1024×768です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ DVI準拠の出力端子（DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン）を持ちXGA出力が可能なコンピュータと接続できます。（接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。）
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

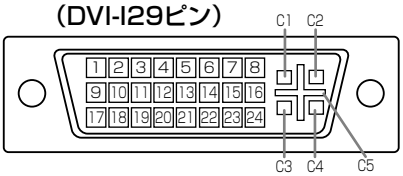
■対応信号タイミング（アナログ）

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA ・IBM AT 互換機	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz
Power Macintosh シリーズ	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz

※ 推奨解像度は、1024×768です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ Power Macintoshの各周波数は参考値です。また接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■DVI-I入力端子のピン配列

（DVI-I29ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2－	16	ホットプラグ検知
2	TMDSデータ2＋	17	TMDSデータ0－
3	TMDSデータ2/4シールド	18	TMDSデータ0＋
4	N.C.	19	TMDSデータ0/5シールド
5	N.C.	20	N.C.
6	DDCクロック	21	N.C.
7	DDCデータ	22	TMDSクロックシールド
8	アナログ垂直同期信号	23	TMDSクロック＋
9	TMDSデータ1－	24	TMDSクロック－
10	TMDSデータ1＋	C1	アナログ赤映像信号
11	TMDSデータ1/3シールド	C2	アナログ緑映像信号
12	N.C.	C3	アナログ青映像信号
13	N.C.	C4	アナログ水平同期信号
14	+5V	C5	アナログGND
15	GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM、Energy Starに準拠しています。
パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	29W	あり	あり
STANDBY	無表示	2W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM：Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	29W
Active OFF	無表示	2W

Energy Star：

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
『国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。』

■DDC(プラグ&プレイ)

本機は、VESAのDDC(Display Data Channel)規格をサポートしています。
DDCとは、モニターとコンピュータのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータがDDCに対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

セットアップ情報とICCプロファイルについて(Windows)

お使いのコンピュータやOSによっては、コンピュータ側で本機のセットアップ情報のインストールが必要になることがあります。その場合は、下記の手順でセットアップ情報をインストールしてください。(お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。)

ICCプロファイルとは…

ICC(インターナショナル カラー コンソーシアム)プロファイルは、液晶モニターの色再現特性を記述したファイルです。ICCプロファイルに対応したアプリケーションで色の再現性を高めます。

※ ICCプロファイルは、Windows 98/2000/Me/XPに対応しています。
※ Windows 98/2000/Me/XPでセットアップ情報をインストールすると、ICCプロファイルも同時にインストールされます。ICCプロファイルだけをインストールしたいときは、32ページの「ICCプロファイルのインストール」をご覧ください。
※ ICCプロファイルを使用する場合は「色温度」を「標準」に設定してください。

■セットアップ情報のインストール

Windows 95の場合

Windows 95に本機のセットアップ情報をインストールします。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「ディスプレイの詳細」、「詳細プロパティ」、「モニター」、「変更」の順にクリックする。
   デバイスの選択画面が表示されます。
5. 「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
6. 表示された一覧から本機を選び、「OK」をクリックする。
7. 本機が表示されていることを確認して、「更新」をクリックする。
8. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
9. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows 98の場合

Windows 98に本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。
6. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「配布ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows 2000 の場合

Windows 2000に本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
6. 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」が表示されたら「次へ」をクリックする。
7. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
10. 「次へ」をクリックし、モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
    「デジタル署名が見つかりませんでした」と表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
11. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
12. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
13. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows Me の場合

Windows Meに本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
3. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
4. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
5. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
   新しいハードウェアの追加ウィザードが表示された場合は、もう一度2.から操作してください。
6. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

【新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されなかった場合】

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」、「モニタ」の順にクリックする。
5. 「オプション」内の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」をチェックし、「変更」をクリックする。
6. 「ドライバの場所を指定する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
7. 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「モデル」が表示されたら「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
9. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」、「次へ」、「完了」の順にクリックする。
10. 本機が表示されていることを確認し、「適用」をクリックする。
11. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
12. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

Windows XP の場合

Windows XPに本機のセットアップ情報をインストールし、本機のICCプロファイルを既定値として設定します。
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。
1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」を選ぶ。
3. クラシック表示にする。
4. 「画面」をダブルクリックする。
5. 「設定」、「詳細設定」、「モニタ」の順にクリックする。
6. 「プロパティ」、「ドライバ」、「ドライバの更新」の順にクリックする。
7. ハードウェアの更新ウィザードが表示されたら、「一覧または特定場所からインストールする」をチェックし、「次へ」をクリックする。
8. 「検索しないで、インストールするドライバを選択する」をチェックし、「次へ」をクリックする。
9. 「ディスク使用」をクリックし、「製造元のファイルのコピー元」を「D:¥」にして「OK」をクリックする。
10. 表示された一覧から本機を選び、「次へ」をクリックする。
「Windowsロゴテストに合格していません…」と表示された場合は、「続行」をクリックしてください。
11. モニタ名に本機が表示されていることを確認し、「完了」をクリックする。
12. 「閉じる」をクリックして、「画面のプロパティ」を閉じる。
13. 「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じる。
14. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

■ICCプロファイルのインストール

本機のICCプロファイルをインストールします。(セットアップ情報をすでにインストールしている場合は、プロファイルも同時にインストールされていますので、この操作は不要です。)
CD-ROMドライブを「Dドライブ」として説明します。
1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ。
3. 「画面」をダブルクリックする。
4. 「設定」、「詳細」の順にクリックする。
5. 「全般」をクリックし、「互換性」内の「再起動しないで新しい色の設定を適用する」を選び、「色の管理」をクリックする。
6. 「追加」をクリックし、ファイルの場所をCD-ROMにする。
7. インストールしたい「カラープロファイル」を選び、「追加」をクリックする。
8. プロファイルを選び、「既定値として設定」をクリックする。
9. 「OK」をクリックしてウィンドウを閉じる。
10. CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出す。

※ ICCプロファイルを使用する場合は「色温度」を「標準」に設定してください。

ColorSyncプロファイルについて(MacOS)

ColorSyncプロファイルとは…

ColorSyncはアップルコンピュータ社のカラーマネージメントシステムで、対応したアプリケーションで色再現性を実現するための機能です。ColorSyncプロファイルには液晶モニターの色再現特性を記述しています。

※ 本機のColorSyncプロファイルは、MacOS8.5以降に対応しています。

※ ColorSyncプロファイルを使用する場合は「色温度」を「標準」に設定してください。

ColorSyncプロファイルの設定方法

※ システムに「PC Exchange」または「File Exchange」がインストールされている必要があります。

※ お使いのコンピュータやOSによっては、名称・操作方法が異なることがあります。コンピュータの取扱説明書と併せてお読みください。

1. 付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。
2. CD-ROM内の使用するプロファイルを、システムフォルダ内のColorSyncプロファイルフォルダにコピーする。
3. コントロールパネルのColorSyncで、使用するプロファイルを選ぶ。

VESA 規格準拠アームの取り付け方

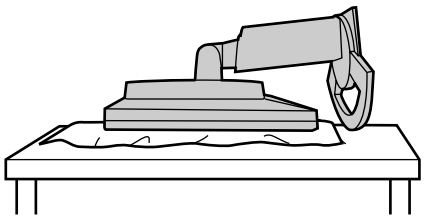
VESA規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※ 本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。
・VESA規格に対応し、モニターに取り付ける部分のネジ穴間隔が75mm×75mmのもの
・モニターを取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。
※ 本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

1. ケーブルを取り外す。

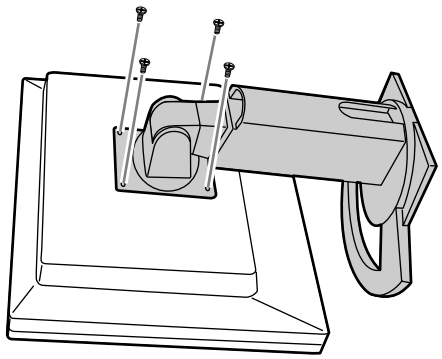
2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。

3. モニターを傷つけないように、表示部を下向きにして静かに置く。



⚠ 注意 **ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持って、静かに倒してください。**
本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

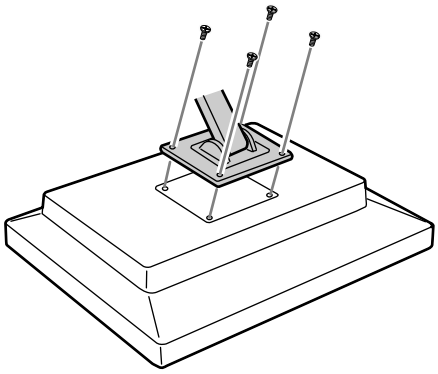
4. ネジ(4本)を外して、スタンドを外す。



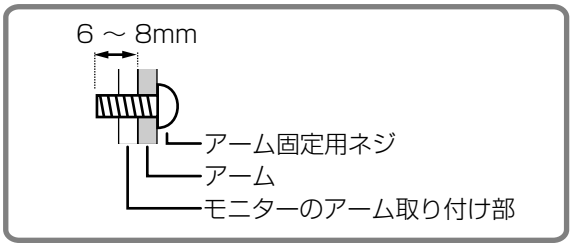
※ スタンドは本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。
※ 取り外したネジは、スタンドとともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。

⚠ 注意 **スタンドを分解しないでください。**
部品が飛び出して、けがの原因になることがあります。

5.アームをネジ(4本)で固定する。



※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが6～8mmのM4を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、モニター内部の破損の原因になります。



●製品についてのお問い合わせは･･			
お客様相談センター	東日本相談室 西日本相談室	TEL 043-299-8021 TEL 06-6794-8021	FAX 043-299-8280 FAX 06-6792-5993
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)			

●修理のご相談は･･	24ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/crisia/

(2004年7月現在)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

04G　　DSC1
TINSJ1059MPZZ ①